

「障害者職業センターでの三カ月」

この三カ月は、たくさんのことを学び、自分と向きあった三カ月でした。当初私は、普通の人に成るためにセンターに通い始めましたが、結果としては成れませんでした。それは、普通の人に成らなくてもいいと気付いたからです。私にとって職業準備支援やリワーク講座は、特性や得意不得意を知り、本心を見つめ直して、自分自身の心に応えて行動する時間でした。最初は簡単な事すら躓く自分と向きあえませんでした。時に見守り、助言をし、一緒に考え、私が自分と向きあうための手助けをされたスタッフの皆さんのおかげで、私は誰かを責めたり、障害を言い訳にしたいわけではなく、私らしく在りたいだけなのだと思えました。下手でも、怖くても、情けなくてもいいから、素直な気持ちと私自身の能力を大切にしたいと思えたこの三カ月を、忘れることなく生きていきたいと思えます。

【令和3年度職業準備支援利用者(30代)】